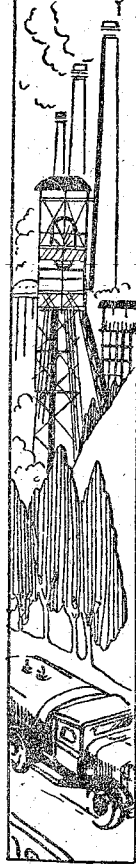


時
論



道路舗装政策確立せらる

富
山
健

道路を舗装して陸運能力の増進を期し、小運送費の低下を確保することは極めて緊要の事に屬するのであつて、多年朝野一致の要望せる所であつた。殊に事變下に入るに及んでは我國内外の現狀に鑑み、綜合國力の充實と、生産力の擴充を企圖する觀點から、自動車保有量の増備に資すると共に、器材並に燃料消費の節約を圖る方策として之が政策の具現化を一層鞏固に主張せらるゝに至り、其の戒行きは強度に重視せらるゝに至つたのである。

企畫院に於ては、曩に日滿支を通ずる生産力の綜合擴充計畫を樹立し、客年末閣議の決定を見たのであるが、此の計畫の實現を容易ならしめ、且つ之が實現後に於ける龐大なる物資輸送を迅速に圓滑ならしむる爲には、交通施設の整備充實が先決、且つ基礎的要件となつて來たのである。然るに道路の現状は、此の要求に副はざるもの著しきものがあり、特に道路の鋪裝に至つては、大都市附近に於て稍々其の面目を視るのみであつて、全國的普及率は、國道に於て一割五分、府縣道に至つては僅かに三分と云ふ甚だ貧弱な有様であるのである。

斯る道路鋪裝の實狀では、到底飛躍的各種國策事業の遂行を庶幾すること能はざるを以て、這般企畫院に於て愈々道路鋪裝の計畫が樹立せられ、其の確定を見たといふことである。その内容は、もとより詳かになし得ないのであるが、仄聞するところによると、大體次のやうなものであるといふ。鋪裝すべき道路は、既改良の國道及府縣道とし、鋪裝すべき區間は、(一)自動車交通量の相當多いものと、(二)軍事上又は生産力擴充上の施設に關係あるものと、(三)港灣鐵道等の交通施設と密接なる關係有るものとか、或は又(四)市街地其の他特殊の事情あるものといふやうなものである。之を國道は原則として、混凝土鋪裝とし、府縣道は、特別の事情あるものに限り混凝土鋪裝とし、他は簡易鋪裝となすものである。

事業費は總額數千萬圓で、之を適當年度に分けて執行するものであつて、國道府縣道併せて數千軒の延長に及ぶといふ話である。幅員は國道は六米乃至九米で、府縣道は五米五である。企業主體は現行道路改良と等しく、國道に付ては内務省直轄を以て施行し、府縣道は地方廳をして起工せしむるものである。尤も從來北海道は拓殖費、沖繩縣は振興費を以て支辨して來た關係で本計畫から除外せられて居る。費用負擔も亦現行通である。セメント又はアスファルト其の他の資材は、本計畫を遂行に當つても充分自給自足出來るのであつて、勞務の需給も圓滑に運ばれる趣である。

斯様にして我國未曾有の長期建設戰に即應して、道路鋪裝計畫が決定したのであつて、正に劃期的大事業である。吾人は其の成立に衷心より敬意を表すると共に、頗る欣快とするものである。而て之が豫算化に付ては今後内務省當局の特段なる奮闘を期待して已まない次第である。尙最後に一言したいのは、本鋪裝計畫と相俟つて重要道路の改良が併進するに非ざれば、眞に日滿支を一體とする生産擴充の根本趣旨の達成に沿ふ所以に非ざるのであるから、切に重要道路改良計畫の強化確立を祈るものである。